

「原発再稼働断念するまで訴えつづける」

石森修一郎氏の奮闘を追う

●県庁に向かって毎日再稼働反対の訴え
2013. 8. 15～2015. 2. 6現在通算360日

●福井駅西口で再稼働反対の署名訴え
2014. 7. 2～毎日無休2/6現在通算30週間



幾多の妨害を乗り越えて

毎日のランチタイム1時間、県庁前交差点歩道で、県庁の知事に向かって、原発の再稼働をしないよう訴え続ける人がいます。もう1年と半年になるうとして、雨の日も雪の日も台風や猛暑の日も続けてきました。その人が石森修一郎さんです。石森さんの大奮闘に共鳴して、西村明宏さんが途中から合流、今は30分ずつ訴えています。

さらに昨年8月、「もう動かすな原発！県民署名実行委員会」が、西川知事に「原発の再稼働を認めないでください」という署名運動を開始。これと軌を一にして石森さんは、福井駅西口に毎日無休で出勤タイムに立って署名を訴えてきま



月々金の毎日ランチタイム、県庁に向かって訴える石森修一郎氏



石森さんは、ボランティア団体、環境アースサポートに所属しています。東日本大震災5カ月前の2010年10月6日、仲間5、6人でもんじゅを見学しました。更に、高浜3号の見

石森修一郎 67才、丸岡町新鳴鹿在住。元材木会社を経営。誰とでも気さくに話す温和な人柄。原発の話になると、途端に能弁になる。

「私の財産だからさわるな」と抗議、止めさせました。こうした3カ月のがんばりで、県警も土木課も何も言わなくなり、市民から「再稼働反対」が普通に受け止められるようになったのではないかと思います。石森さんは、「原発再稼働を断念するまで訴え続ける」と。

これらに法の勉強もして対応、横断幕を威力で外そうとする土木課職員に、笑う人もなくなり、市民から「再稼働反対」が普通に受け止められるようになったのではないかと思います。石森さんは、「原発再稼働を断念するまで訴え続ける」と。

福島事故で原発はもうだめ、再稼働許さない

学を申し込みましたが、テロ対策で見学を受け入れるなど、公安から言われたとキャンセルしてきました。公安に確かめると、言っていないと言う。こうして高浜3号も見学。このように敦

賀、志賀、柏崎刈羽、女川原発を見学しました。そういう時に福島大事故が起こり、原発はもうだめだと悟りました。以来片っ端から原発の本を読みました。原発の放射能によって人間もこの地球上の全ての生物も生きられなくなる。にもかかわらず、再稼働しようという。絶対許せない。これが石森さんを再稼働反対行動に駆り立てました。事故の翌年、大飯原発が再稼働されます。福井新聞に、国際原子力研究所武田所長の加圧水型は大丈夫という記事が載りました。おかしー！と思っている時、武田所長にかわった安濃田所長が、加圧水型も危ない」と新聞に載りました。やっ

映画「日本と原発」

3月17日(火)～20日(金)
4日間とも18時30分から
メトロ劇場
前売券 一般1000円
シニア・学生800円

再稼働反対で太鼓を打ち鳴らしながら歩いている日蓮宗のお坊さん達に、石巻で救援ボランティア活動中の石森さんが出会いました。そのお坊さん達が、福井から高浜に歩くというので、13年8月上旬、石森さんも同行しました。全行程164キロ。これが体力増強になったと言います。石森さんの

石森さんは、読みあさって身に着けた原発の知識を駆使して、安濃田所長と話し合うこと3時間、安濃田所長を講師にフェニックスプラザ地下大会議場で、講演会を開く約束を取り付けました。2013年3月11日、大事故2周年の日です。石森さんは必死で参加者を組織し、100人を超える参加者を得て、講演会は成功しました。「朝日」にその記事が出ています。

3・11メモリアルアクション

一原発のない福井へー
会場 フェニックスプラザ2Fホール
地下会議室
日時 3月1日(日) 正午～pm4:30
☆文化プログラム、リレートーク、多彩

「再稼働認めないで」の署名、昨年8・9キックオフ集会以来5ヵ月

県集約で20万5千突破！坂井市7千2百余

再稼働への住民の危機感のあらわれ



呼びかければ
ピンピン応える

昨年8月9日、国際交流会館地下多目的交流広場で開かれたキックオフ集会以来5ヵ月、「原発の再稼働を認めないでください」と西川知事に求める署名は、この1月15日集約の結果、20万を突破しました（以後も集約）。

呼びかければピンピン応える、4年前の3・11福島事故以来、「原発は怖い」と原発なくしてほしい”住民の率直な願いが込められています。

筆、五十嵐美知恵さん（春江）200筆、清水喜一郎さん（坂井）144筆、大井七世美さん（三国）142筆、森瀬一筆さん（坂井）113筆です。

川内・高浜原発の規制委員会審査やり直すべきです

ニューズNo.5で、原子力規制委の川内・高浜原発が基準に適合との審査は、でたらめだと告発しました。専門家からもクレームがついています。

核燃料被覆管のジルコニウム合金が高温で水と接触し、水が分解されて水素が発生します。更に、溶けた燃料が格納容器に落下すると、高温の燃料でコンクリートが熱分解され、水素や一酸化炭素が発生します。

ニューズNo.6 2015年2月 事務局発行 問い合わせ 野波（上兵庫）090-8969-9677

坂井市民の会を 引っ張り続けた 南出直美さん

住民の願いを 無視する西川知事

いらんざ原発！坂井市民の会

いらんざ原発！坂井市民の会
呼びかけ人（4名）16現在2団体52個人

竹内謙二（霞ヶ丘1丁目・丸岡9条の会）
竹内泰治（緑ヶ丘4丁目）
田口和正（田島新）
田崎善治（下兵庫）
多田直子（御油・演仙寺坊守）
中田康博（運動公園3丁目）
坪内穂澄（北横地1丁目）
坪田知代子（福志寺）
釣部礼子（東若宮・原発ゼロの会坂井）
坂田直興（上関・農委）
長谷川 八幡町・丸岡9条の会
中村雅子（福志寺）
南條光磨（西太郎丸）
野波栄一郎（上兵庫・原発ゼロの会坂井）
林野伊枝子（西瓜屋・市議会議員）
山崎麻美子（篠岡・新婦人丸岡班）
日元久勝（福志寺）
藤岡繁樹（羽崎・元町議）
松田 毅（いちい野）
松本 朗（中筋北浦・市議会議員）
南 憲一（新宿1丁目）
村井俊江（為国平成）
南出直美（田島）
森瀬一筆（下兵庫・照園寺住職）
山崎一之（陣ヶ岡・おけら牧場）
山崎洋子（陣ヶ岡・おけら牧場）

署名は、県内外は勿論、ネット署名も呼びかけられ、急速に広がりました。県内17自治体すべてで取り組みが進みました。団体の取り組みも大きな力を発揮しました。県教組や全国一般、私鉄総連などが加盟の平和センター、高教組、民医連、新婦人、県労連、民青、民商、共産党が加盟の原発問題住民運動連絡会。その他、科学者会議、うたごえ協議会、AALA（アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会）、原水協、年金者組合、福井から原発を止める裁判の会、自由法曹団などががんばりました。

高浜原発の再稼働は、

いらんざ原発！坂井市民の会は、力強く署名収集・市民の会に元気を吹き込み続けた南出直美さんの大奮闘に勇気づけられ7260筆（1/29）、県内自治体では、越前市（1万69筆）に次いで多い。3番小浜4288筆、4番福井3221筆、5番鯖江2524筆です。

20万余の署名を携えて、「もう動かすな原発！県民署名」実行委員会は、西川知事自身が、署名と申し入れを受理するように働きかけました。しかし1/21日現在、所管の課長が応対、知事は対応しないという県の回答で、県実行委員会はこれを受け入れるわけにはいかない、再度知事自身が受け止めるよう申し入れしました。返事はまだです。

民主主義社会にあつて、住民の願い20万筆もの原発署名を無視する知事ではないのか、問われています。

過酷事故時に最も水素発生量が多いのは、压力容器（炉心）です。

裏面もご覧ください